



恵田小新聞

令和3年

5月

第161号



令和3年度 全校児童 43名 がんばいます！

校訓 「自立」のもとで

校長 内山 彩由実

令和3年度が始まりました。四月六日に七人の元気一杯の一年生が仲間入りをしました。四十三人の恵田っ子と共に、当たり前前の一昨日を大切に歩んでいきたいと思えます。どうか本年度もよろしくお願ひします。

もし、誰かが私に「学校ってどんなところですか。」と質問をしたら、私はこう答えます。「学校はかしくなるところ。そして、仲良くするところですよ。」と。学校には毎日共に勉強や運動をする友達がいます。恵田っ子のために力を尽くしている先生達がいます。学校に来ること、友達や先生、さらには地域の方々と触れ合え様々な話を聴く時間のなかで、人は人として真にかしくなっていくのだと思えます。さらに、嬉しいことや悲しいこと、悔しいことや元気になること、感謝することや反省すること・・・。たくさん経験をして、少しずつ優しくなれ人は人と仲良くできるようになっていくのだと思えます。

本校の校訓は「自立」です。その目指す姿、「時には歯を食いしばって学び、感謝を込めたあいさつを進んでし、笑顔で元気に生きていく」恵田っ子を目指し、全職員で力を合わせ努めていきたいと思えます。

「PTA会長就任にあたり」

大山 桂生

令和3年度PTA会長を務めさせていただき、六年実和、三年新太の父、大山桂生と申します。自分もこの恵田小学校で学び、育った恵田っ子の一人、その恵田小の会長ということで身の引き締まる思いでおります。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、様々な行事が中止や短縮になりました。今年も変異種ウイルスが流行し始め第四波がいつきてもおかしくない状況です。子どもたちをはじめ、保護者の皆様や先生方も、急な予定の変更などでまた大変な年になるかもしれせん。しかし、今年はあるべく行事を中止などにはしたくありません。恵田小という小さな学校だからこそできる事を、PTAとしても考えていきたいと思っております。そして、子どもたちの思い出を少しでも多く作れたらと思えます。

会長としていたらない点もあるかもしれませんが、努力してまいりますので、保護者の皆様、先生方、学区の皆様のご協力をなにとぞ宜しくお願い致します。